

# 文化財保存修理研究会 2016 年度事業報告

## 1. 定時総会の開催

文化財建造物保存修理研究会 2016 年度定時総会を次の次第のとおり開催し、議事内容のとおり決議された。また、総会終了後情報交換会が開催され、41 名が参加した。

### (1) 次 第

- 1) 日 時 2016 年 6 月 27 日 (月) 15 時 00 分～17 時 00 分
- 2) 会 場 東京文化財研究所(東京都台東区上野公園 13-43)  
セミナー室
- 3) 出席者数 正会員 46 名 (委任状 123 名)  
(2016 年 5 月 1 日現在の正会員数 255 名)
- 4) 議 長 会長 斎藤 英俊
- 5) 審議事項  
第 1 号議案 2015 年度事業報告及び収支決算  
第 2 号議案 2016 年度事業計画及び収支予算

### (2) 議事内容

- [第 1 号議案] 2015 年度事業報告及び収支決算について承認した。
- [第 2 号議案] 2016 年度事業計画及び収支予算について承認した。

### (3) 特別講演「文化財保存修理の重要性」

演者：青柳 正規氏 (前文化庁長官)

## 2. 研究会誌の刊行

2017 年 3 月 27 日に『文化財建造物研究—保存と修理—』Vol.2 を刊行した。

## 3. 研究発表会の開催

第 2 回研究発表会を、文化財建造物保存修理研究会主催で次のとおり開催した。また、研究発表会終了後情報交換会が開催され、40 名が参加した。

- 1) 名 称 「第 2 回研究発表会」
- 2) 開催日時 2016 年 11 月 12 日 (土) 午前 10 時～午後 5 時

- 3) 会 場 東京文化財研究所セミナー室  
(東京都台東区上野公園 13-43)

4) 発表演題等

【午前】

特別報告 「国宝正倉院正倉の平成修理について」

公益財団法人文化財建造物保存技術協会 常務理事 安田 一男

同 事業部史跡整備設計課長

春日井 道彦

【午後】

特別講演 「コンクリート造建造物の保存と修理」

1. 「重要文化財 梅小路機関車庫の修理事業

ーコンクリートの劣化対策とオリジナル部材の保存ー」

西日本旅客鉄道大阪工事事務所京都建築工事所副所長 中西 哲也

2. 「コンクリートの中性化対策の黎明

ー重要文化財梅小路機関車庫の昭和20年代ー」

国立研究開発法人建築研究所建築生産研究グループ長 長谷川 直司

研究発表

1. 「国宝 旧富岡製糸場西置繭所の保存と活用

ー産業遺産としての価値の維持と大胆な活用の両立を目指してー」

富岡市世界遺産部富岡製糸場保全課保存活用係長 岡野 雅枝

2. 「登録有形文化財 真宗大谷派高田別院大門及び塀の保存修理について」

もば建築文化研究所

梅田太一・中村文美

- 5) 参加者数 80名

#### 4. 現場ワークショップの開催

実際の保存修理工事現場において修理工事の状況を見学し、具体的な事例を通じて保存修理に関する意見交換を行うことにより、会員の調査研究の向上に資することを目的とする「現場ワークショップ」を開催した。

(1) 第3回現場ワークショップ

1) 日 時 2016年4月6日(水) 13:30~16:30

2) 会 場 重要文化財 梅小路機関車庫

〒660-8835 京都府京都市下京区観喜寺町

3) 参加者 31名

(2) 第4回現場ワークショップ

- 1) 日 時 2016年10月15日(土) 10:00~16:00
- 2) 会 場 重要文化財 シャトーカミヤ旧醸造場施設
- 3) 参加者 31名

(3) 第5回現場ワークショップ

- 1) 日 時 2016年12月4日(日) 13:00~15:30
- 2) 会 場 (株)播磨屋本店豊の岡工園内三重塔新築現場
- 3) 参加者 37名

5. 文化財建造物保存修理ワークショップ

文化財の修理技術や活用技術等に関する「文化財保存・復元技術展」(一般社団法人能率協会主催)の開催期間中に、保存修理事業の実際の紹介を通じ保存修理工事や活用計画等に関わる今日のかつ具体的な課題等について、来場者も交えた幅広い意見交換を行うことを目的とするワークショップを開催した。

- (1) 日 時 2016年7月22日(金) 10:30~16:00
- (2) 会 場 東京ビッグサイト 国際会議棟 605 室
- (3) 参加者数 103名
- (4) 概 要 [進行 木村 勉(研究会幹事)]

1) 講演 「近代化遺産の保存と活用」

演者: 斎藤 英俊(研究会会長)

2) てい談

・藤井 恵介(研究会副会長)

・長谷川 直司

(国立研究開発法人建築研究所建築生産研究グループ長)

・小林 裕幸(公益財団法人文化財建造物保存技術協会設計課長)

3) 個別事例ワークショップ

1. 重要文化財舞鶴旧鎮守府倉庫施設保存修理の「耐震対策、新たな活用事例」に関する発表・意見交換

(発表者)

・矢谷 明也(舞鶴市建設部次長)

・木本 泰二郎((株)文化財保存計画協会主任研究員)

・北 茂紀(北茂紀建築構造事務所代表)

2. 重要文化財シャトーカミヤ旧醸造場保存修理の「活用事例、建物の特徴・用途に応じた耐震補強」に関する発表・意見交換

(発表者)

- ・川口 孝太郎 (合同酒精株式会社シャトーカミヤカンパニー物販部長  
兼営業推進部長)
- ・遠藤 優 ((公財)文化財建造物保存技術協会事業部技術職員)
- ・今関 俊 ((公財)文化財建造物保存技術協会事業部技術職員)
- ・岩瀬 正樹 (大成建設株式会社東京支店つくば建築作業所長)

## 5. 会員数、事務所の設置、広報等

(1) 2017年3月31日現在会員数

正会員数 274名、学生会員数 18名、賛助会員(個人) 5口(4名)、  
賛助会員(団体) 21口(19団体)

(2) 「研究会ニュース」を第8号から第11号まで配信した。

以 上